

令和5年度 第3回 静岡県立浜松湖南高等学校 学校運営協議会議事録

1 日時 令和6年2月2日（金）

2 場所 静岡県立浜松湖南高等学校 会議室

3 出席者 岩成 善久 （令和4年度 P T A会長）  
松本 雅美 （ムンド デ アレグリア学校 理事長兼校長）  
坂田 雄章 （元自治会副会長・元中学校長）  
杉山 哲也 （河合塾浜松校 校舎運営チームチーフ）  
小杉 大輔 （静岡文化芸術大学教授）  
渥美 和弘 （浜松市西区雄踏協働センター所長）

4 内容

- (1) 校長挨拶
- (2) 学校関係者評価について
- (3) スクールポリシーの改定について
- (4) 学校の様子について  
（部活動結果、進路課より報告、アカデミックハイスクール事業報告）
- (5) 意見交換 テーマ「学校に期待すること」

5 議事録（要点）

(1) 校長挨拶

今年度はヘンドン校との交流、オーストラリア語学研修等の国際交流が実施できた。  
1月の能登半島地震は他人事でない。本校でも津波対策として、3学期には1年生が屋上への避難訓練を行う予定である。

(2) 学校関係者評価

委員による事前評価をもとに、学校より補足説明を行った。取組目標とその達成状況を踏まえて委員で検討し評価を定めた。

(3) スクールポリシーの改定について

校長よりスクールポリシーの改定の趣旨を説明し、改定案は了承された。  
令和6年度より改定する予定である。

(4) 学校の様子について

(ア) 部活動結果

生徒指導主事より令和5年10月以降の大会結果を報告した。

(イ) 進路課より活動報告

進路指導主事より大学入学共通テスト関係および進路の決定状況等の報告をした。

(ウ) アカデミックハイスクール事業報告

副校長より令和5年11月と12月に実施したアカデミックハイスクール事業の取組を報告した。

(5) 意見交換

「高校に期待すること」をテーマに意見交換を行った。主な意見は次のとおり。

- 英語科の特色を活かしてほしい。地域への周知広報を推し進めてほしい。
- 大学に入る時点で将来何になりたいかわからない学生が多い。どんな企業に就職しようかと考えられるようになっているとよい。
- キャリア教育は重要である。
- 多文化理解、多文化共生の上に多様性があるということを教員、生徒が理解したい。
- 将来何をしたいのかが決まっていない生徒が多い。たくさんの経験をして選択肢を広げて欲しい。
- 細かいところまで示さないと目標を設定することが難しい生徒もいる。高校と連携して進めていきたい。
- 好きなことに一生懸命に取り組めるようアプローチして欲しい。

以上